

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/47名 出席率/62.67%

メークアップ/28名 修正/75名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



会場監督、親睦活動委員会は日頃から熱心に活動をされ感謝申し上げます。今年度クラブ重点課題であります会員増強、ロータクト共同提唱、ポリオ撲滅等を推進する委員会が活動計画の実現に向け委員会を開催し行動してください。多くのプロジェクトを抱えている社会奉仕委員会、詳細な計画と役割分担を明確にし、会員の参加を呼び掛けてください。外部講師の招聘により例会の充実を図り、「例会を楽しむ」為にはクラブ広報委員会、職業奉仕委員会、会場監督、クラブ幹事が情報を共有し例会のスケジュール作成と会員へのアピールをお願いします。ロータリー財団委員会、米山記念奨学会委員会、スマイリングボックス委員会はロータリー活動を支える重要な委員会です。金額目標が明示されていく、委員会を開催し徹底してください。この他の委員会に於かれても計画作成時だけでなく、実行段階での委員会を是非開催してください。委員長のリーダーシップを期待しております。

次に8月22日イタリアより福島21ロータリークラブ受け入れ青少年交換留学生のアンナさんが成田空港に到着しました。明日福島21ロータリークラブでウエルカム・パーティーが開催されますので私も参加することになっております。青少年交換留学生は地区の事業として推進しております、子クラブの福島21ロータリークラブがホストクラブとなり活動しておりますので会員の方に關心をもって頂きたいものです。なお、アンナさんは桜の聖母高等学校へ入学、インターアクトクラブに入部されるそうです。成蹊高等学校とのインターアクトクラブ合同例会も考えておりますので実現すれば素晴らしい交流となるでしょう。本日はこの後、福島南ロータリー奨学会の授与、笹野樹会長・鈴木洋子会員のスピーチと盛り沢山のプログラムとなっております。皆さんどうぞ「例会を楽しんでください」。

福島ロータリークラブ会長挨拶 浦部 博 会長

福島成蹊高等学校福島南RC奨学金及び奨学生認定書授与



福島南RC 浦部 博会長より、ご挨拶を頂戴しました。



福島成蹊高等学校の1年奨学生金山歩夢さん、2年奨学生一條花乃さん、3年奨学生黒澤佳奈さんへ奨学金及び認定書が授与されました。

会員増強委員会委員長スピーチ 笠 雅樹 委員長



会員スピーチを仰せつかりました会員増強委員長の笠 雅樹です。よろしく申し上げます。本日はセミナー報告との事ですが、私は出席する事ができませんでしたので、セミナー報告ではなく、会員増強を進めるにあたっての話をしたいと思います。

今年、私の会社に20代の新入社員が3名入社しました。今の若い人はインターネットやSNS等で企業リサーチ、企業の評判というページをみて、企業・団体の事業活動などを参考に情報を入れています。若い方を入会させるといことは、ホームページやSNS等の情報を常に最新のモノにしておくことが必要だと思います。

そこで、当クラブの最新の状況を見て頂き会員増強には何が必要か当クラブの強みと弱みを皆様と考えていきたいと思っております。

福島南ロータリークラブ会員数 75名。うち女性会員 8名男性会員 67名女性会員の割合 10.6%。当クラブの会員平均年齢は62.61歳です。女性会員の比率は世界のロータリークラブで約20%ですが、日本ではまだ10%前後だそうです。当クラブの平均年

齢は62.61歳なので62歳未満の方は当クラブでは若手ということになります。

平成30年8月1日現在のデータです。世代ごとに数字を見ていきます。

20代 会員 1名 1.3%	30代 会員 0名 0.0%	40代 会員 11名 14.6%
50代 会員 12名 16.0%	60代 会員 31名 41.3%	70代 会員 16名 21.3%
80代 会員 3名 4.0%	90代 会員 1名 1.3%です。	

全世界でのロータリークラブ会員の52%が50~69歳。22%が70代以上です。当クラブは50~60代が世界の平均より5%多いです70代以上も4%多いので、世界の平均値に近づけるには50歳未満の会員を6.75人増員しなければなりません。また、職業分類一覧表にある職種コードの中でコンピューター・情報システムの会員が少ないのが不思議に思いました。会員増強と言いますが若い方の会員増強は大変です。自分もまもなく49歳になりますが、40代の会員が先頭を切ってコミュニケーションを取り、会員増強を進めなければならぬと考えております。

弊社は創業30年目になります。私と母とほか2名で私が21歳の時に会社を立ち上げました。私が40歳で社長となりましたが、いざ交代してみると金策やらクレーム処理やら想像以上に大変でした。身内がいる。自分の上に頼れる上司がいる。それだけで安心感と安定感ができます。当クラブも大先輩方々が沢山おります。これほどの安心感と安定感はないと思います。

自分の好きな言葉があります。人生各年代の最優先順位という言葉です。

1、10歳まで 限りなく愛せ	2、10代 大人の背中を見る	3、20代 学べ、憶えろ、恥をかけ
4、30代 教える(後輩)、責任を持って	5、40代 花よ咲け、部下を育てろ	6、50代 人生を語れ
7、60代 遊べ	8、70代 往生際を美しく	9、80代 お見事、言う事なし

この言葉のように自分も年を重ねていきたいなと思います。会員増強だけでなく、今いる皆様が辞めることなく元気な長生きしてもらう。プラス若い会員の増強を務めていきたいと考えております。難しいとは思いますが、このロータリークラブで自分の後継者と一緒に活動できればどんな世代交代出来き、会員増強に繋がるのではないかと考えております。またロータリークラブの素晴らしさを、何らかの形で発信出来れば良いなと考えております。最後に若い世代を担う方がいましたら是非ご紹介ください。

米山記念奨学会委員会委員長スピーチ 鈴木 洋子 委員長



2018年8月19日、磐梯熱海温泉 ホテル華の湯に於いて、米山記念奨学会委員会セミナーが開催されました。県内各地から124名のロータリアンが集い熱気に包まれた会場で平井義郎ガバナーの開会点鐘でセミナーが開催され学友委員会の齊藤純一委員の開会の辞、ガバナー挨拶、委員や奨学生紹介の後、セミナーに入りました。福島南ロータリーから三浦善治会員とともに参加し有意義な時間を過ごしました。

セミナーは、米山記念奨学会理事・大橋廣治バスターガバナーによる「米山記念事業について」から始まりました。私に感動を与えたもの、一つは高校球児の甲子園での姿、二つ目は尾島春夫氏(78歳) 神がかり的なすごい方。救助活動に参加しわずかな時間で、2歳の男の子(理稀ちゃん)を抱き、お母さんに直接渡された。祖父よりお礼の言葉と食事とお風呂を勧められたのをボランティア精神に反すると断り、見返りを求めない姿。65歳まで一生懸命働いたその恩返しのためにボランティアで余生を過ごしたい。また、福島南ロータリー会員の活動を紹介され、世界の貧しい子供たちに無償の奉仕をされている。その姿こそ、米山の原点である。と、話され最後に、ロータリーを学ぶことは自分の為になる。生涯、奉仕の道を歩む事が米山の精神に通じると結ばれた。

よねやま親善大使の体験報告では、モンゴル出身エルフボルド・ポロルトヤさんの体験報告、親善大使として、モンゴルに奉仕活動の輪を広げ「学友会」を設立、日本とモンゴルを繋ぐ架け橋となりロータリーとの縁を大切にしている。

2530地区で、学友活動をする元奨学生に学友の成果を見る!!では、ミャンマーから留学し「日本に来て生まれ変わった私」のテーマで、幼いころからの夢だった自らが、日本に来て出来ました。ミャンマーを出て気付いたこと、ミャンマーの女性は「男性よりも女性の下だ」と言うイメージを社会の中で植え付けられていた、大きな間違いで、みな平等だと思えます。と、述べられた。日本で、英語特別講座を受けイギリスに短期留学の機会もあり、世界の人と出会い新しい事を学んで成長していきたい。ロータリー活動に参加し日本とミャンマーの懸け橋になりたい。と、結ばれた。

モンゴル出身のオディ君、南ロータリークラブで7月にお話を伺っていたので親しみを込めて伺う事が出来ました。「9月にモンゴルに行きます」と、挨拶させて頂きました。

その後、米山奨学会事業の推進について、米山記念奨学会 委員会セミナー報告、今後の日程報告などがあり閉会されました。

4時間のセミナー研修を受講し、奨学生の体験談が米山記念奨学会委員会の結果そのものだと感じました。多くのロータリアンに奨学生の体験された生の声を届ける事が委員会メンバーの使命と思えました。2万396人の奨学生が活躍されている姿を紹介し、ロータリー精神を受け継いだ学友が世界の平和を目指し、奉仕活動に精出し更なる出会いを求め挑戦し続ける若者のいる事を、皆で応援したいと思います。世界の平和のために。

<p>— 今後のプログラム —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月12日(水)第2回ガバナー補佐訪問 ・9月19日(水)新会員歓迎夜間例会 ・9月26日(水)休会 	<p>— 9月5日(水)の例会プログラム —</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会点鐘 2. ロータリーソング 3. 四つのテスト唱和 4. 来訪者紹介と会長挨拶 5. たまのやオーナー挨拶 6. スマイリングBOX報告 7. 公共イメージチーム・ITチーム 8. 奉仕プロジェクトグループ 9. たまのや営業推進担当部長 10. 謝礼の贈呈 11. 各委員会報告 12. 閉会点鐘
<p>— 地区情報・第一分區・関連情報 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月15日(土)地区青少年奉仕委員会セミナー ・9月22日(土) ガバナーエレクト事務所開設祝い ・9月23日(日)第2回福島南RCゴルフコンペ ・9月26日(水)国際交流旅行(至9月30日) 	<p>合同セミナー報告</p>

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字過敷6-2サ・メイファイン 1F2号室 TEL:024-546-3793 FAX:024-545-7878

HP: <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary> MAIL: f-southrotary2530@inaka.ne.jp

例会会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL:024-523-3811(代) FAX:024-523-0375